

活躍する卒業生 | Active graduates

尾田明香里 | おだ・あかり

株式会社 福井村田製作所 品質保証部



尾田明香里

—
2021年度
大学院工芸科学研究所
博士前期課程
バイオベースマテリアル学専攻 修了



在学中の様子



仕事中的様子

就職課程、研究室活動に力を注いだ学生時代

私は昔から数学や理科が好きだったので、理系の単科大学である京都工芸繊維大学を選びました。そして、学生時代には何か大学でしかできないことに取り組みたいと思っていたため、教職課程の履修を試みました。教職課程に関しては、教員免許を取るために必要な授業・実習が結構な数あり大変ではありましたが、普段の授業では身に付けることのできない知識やスキルが習得でき充実した日々を送っていました。とくに教育実習では実際の教育現場の厳しさややりがいを体験することができたため、今となってはとて面白い経験ができたと感じています。

また、大学3回生の頃に色彩工学の授業を受け、染色というものに興味を持ちました。それまで染色という分野に馴染みはありませんでしたが、ここでしかできないことに挑戦したいと思い染色の研究ができる研究室に入りました。染色は染色時の条件や処理の方法、布の材料などによって全く違う色に染まるため、実験をする度に新しい発見があり刺激的で楽しかったです。レポートを書くのがとても苦手だったのですが、先輩や先生の優しく手厚いサポートがありなんとか修士論文を仕上げることができました。深く考えずに直感で研究室を選びましたが、結果この研究室を選んで本当によかったと思っています。

電子部品メーカーという新天地へ

就職活動時は、今まで大学で学んできた知識が生かせるバイオ系の会社にするのか、それとも全く違う分野の企業に進むのか迷いました。しかし、研究室を選ぶ際に馴染みのなかった染色の分野に飛び込んでみて刺激的で楽しい毎日を過ごせた経験から、あえて全く違う分野に挑戦しようと思い電子部品の会社に入ることにしました。

会社では品質保証部に配属され、コンデンサの品質を保証するために必要な試験や計測技術を開発する業務

に携わっています。電子部品の会社だと大学時に学んだことは全く生かすことはできないだろうと思っていたのですが、そんなことはありませんでした。例えば製品の故障メカニズムなどを考える際には有機化学や無機化学といった材料科学の知識が必要であり、大学時に身に付けた知識や経験は色んなところで生きてくるのだと日々感じています。

今まで新しいことに挑戦し喜びを得ることで成長できたと思っているので、会社でもいろんなことに取り組み視野を広げていきたいと思っています。

興味を追求することが充実した学生生活につながる

大学では素直に自分の興味のあることに挑戦してみるのがいいと思います。私の場合はそれが教職課程の履修や染色の研究でしたが、部活やサークル、アルバイト等色々な経験ができる期間だと思っています。就職先が、大学で学んだことを直接生かせる会社ではなくても無駄になることはなく、培った知識や経験が生かせる場面は必ずあります。ですので「やっぱりこうしておけばよかった…」と後悔だけはすることがないように、好きなことや興味があることに全力で取り組んでほしいと思います。

私自身は通える範囲の理系の単科大学ということで京都工芸繊維大学を選んだのですが、今思うと教職課程の履修や染色の研究、またタイの留学生との交流などここでしかできなかった経験がたくさんできる大学だったと感じています。また、京都の伝統工芸についての講義もあり、京都ならではの授業を受けることができたのも魅力の一つだと感じています。そして京都工芸繊維大学ではグローバルインターンシップという制度があり、他国の大学で研究に参加するなどグローバルな経験をすることが可能です。本当に色々なことに挑戦できる環境が整っていると思うので、興味があることを見つけ充実した学生生活を送ってほしいと思います。

常に**挑戦心**を持ち、**興味のあることに全力**で取り組む。
京都工芸繊維大学には、それを後押ししてくれる環境があった。